

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	水産振興課(水産振興担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	漁港整備事業	事業番号	10168

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-2	沿岸漁業の振興
	施策目標	持続可能で魅力ある沿岸漁業を展開するまち	

2 事務事業の目的

目的	沿岸漁業の振興を図るため、各漁港施設の計画的な施設整備促進に努め、漁業の健全な発展と水産物の安定供給を図る。
成果	マリンビジョン等の推進により着実に漁港整備が図られている。(第3種、第4種)
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要					
	27	国直轄事業、北海道単独事業					
	28	国直轄事業、北海道単独事業					
	29						
	30						
	31						

		(単位:千円)	H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
事業費と内訳	事業費		22,732	19,067				41,799
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他		11,366	9,533			20,899
		一般財源		11,366	9,534			20,900
		人員(人工)		0.17	0.17			
	職員費(人員×8,081千円)		1,374	1,374			2,748	
	総事業費		24,106	20,441			44,547	

維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	整備要望する漁港数	30箇所	—	—

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	漁業者にとって利用しやすい漁港環境となり、水産物の安定供給に繋がることが期待される。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<p>■かなりのニーズがある □ニーズはある □ニーズはあまりない</p> <p>当市の基幹産業である水産業に直結する案件であるため、非常に必要性は高い。</p>
イ. 市が実施する必要性	<p>■市が実施すべきである □市の実施について検討の余地あり □市以外で実施可能である</p> <p>国(直轄)及び道(単独)が事業実施主体となるが、地域の連絡窓口及び漁業者の調整など市が中心となり要望をする必要がある。</p>
ウ. 事業の緊急性	<p>■緊急性が高い □緊急性はある □緊急性はない</p> <p>整備してから老朽化している箇所もあり、危険が伴う場所があるなど緊急性は高い。</p>
エ. 手段の適切性	<p>■適切である □現状として妥当である □検討の可能性はある</p> <p>各漁協単位で、浜(漁業者)の意見を常時間き、また、振興会を設立して情報収集に努めるなど適切である。</p>
オ. 事業の公平性	<p>□公平性は高い ■概ね公平である □改善の余地はある</p> <p>広く要望を取りまとめているため、概ね公平と考える。</p>
カ. 事業の有効性	<p>■本事業の有効性が高い □本事業の有効性がある □既存事業と大きな差はない</p> <p>漁業者からのニーズがもっとも高いため、本事業は必要である。</p>

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<p>【速やかに実施】 速やかに事業推進し、漁港の機能強化を図られたい。</p>
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<p>■計画どおり着手が適当 □再検討し実施する □着手を延期する</p>

作成年度

平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	水産振興課(水産振興担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	北方領土隣接地域振興等推進費補助事業	事業番号	12372

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-2	沿岸漁業の振興
	施策目標	持続可能で魅力ある沿岸漁業を展開するまち	

2 事務事業の目的

目的	国の北方領土隣接地域振興等推進費補助金を活用し、安全安心な根室産水産物の供給体制を整備することにより、高付加価値化に繋がる衛生管理レベルのさらなる向上を図る。
成果	地域で水揚げされる水産物の品質衛生(高鮮度・低温保持)管理レベルの向上を推進する。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	落石漁港製氷施設整備(地域産業高度化事業)						
	28	落石漁港製氷施設整備(地域産業高度化事業)※事業完了						
	29							
	30							
	31							
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		13,500	8,200				21,700
	内訳	国庫支出金						
		道支出金	13,500	8,200				21,700
		地方債						
		その他						
	一般財源							
	人員(人工)		0.33	0.33				
	職員費(人員×8,081千円)		2,667	2,667				5,334
総事業費		16,167	10,867				27,034	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	整備要望する施設数	1箇所	—	—

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	消費者の求める新鮮な水産物を供給することができる。
-------------------	---------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 当市の基幹産業である水産業に繋がる案件であるため、必要性は高い。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 連絡窓口及び事業内容について把握しておくためにも市が中心となり事業を実施する必要がある。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 新鮮な水産物の鮮度を保持し提供するためには必要である。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 各漁協に要望調査し、取りまとめたうえで事業を実施しているので適切である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 各漁協に要望調査しているので概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 漁業者、漁協からのニーズが高く、事業の有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 重点プロジェクト事業につき、速やかに実施されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 引き続き、市内4漁協と協議を重ね、事業実施について検討する。

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	水産振興課(水産指導担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	北方領土隣接地域振興等事業推進費補助事業	事業番号	11773

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-2	沿岸漁業の振興
	施策目標	持続可能で魅力ある沿岸漁業を展開するまち	

2 事務事業の目的

目的	国の北方領土隣接地域振興等事業推進費補助金を活用し、市内4漁協が漁家経営の安定を目指して漁場環境改善や藻場造成などにより沿岸資源の維持・増大に取り組む。
成果	各種沿岸資源の維持・増大させ、漁家経営の安定を図る。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	コンブ漁場の雑海藻等の除去、ウバガイ・ホタテガイ漁場の有害生物等(ヒトデ類)の除去						
	28	コンブ漁場の雑海藻等の除去等						
	29	コンブ漁場の雑海藻等の除去						
	30	コンブ漁場の雑海藻等の除去						
	31	コンブ漁場の雑海藻等の除去						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		35,200	39,100	39,100	39,100	39,100	191,600
	内訳	国庫支出金						
		道支出金	35,200	39,100	39,100	39,100	39,100	191,600
		地方債						
		その他						
	一般財源							
	人員(人工)		0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	
職員費(人員×8,081千円)		2,020	2,020	2,020	2,020	2,020	10,100	
総事業費		37,220	41,120	41,120	41,120	41,120	201,700	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	藻場造成面積	278,100㎡	237,500㎡	237,500㎡

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	水産資源の維持・増大
-------------------	------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 各種沿岸資源の維持・増大は漁家経営の安定と共に市内経済にも影響するため市民ニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 漁業協同組合等が実施している。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 一部の沿岸資源において資源水準が低下しており緊急性はある。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 他に代替となる手段が無く現状として妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 各漁業協同組合の漁業者を受益者とした補助事業であり概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 一部の沿岸資源において漁獲量が維持されており有効性がある。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図り、資源増大に繋がりたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	水産振興課(水産指導担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	産地水産業強化支援事業	事業番号	12453

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-2	沿岸漁業の振興
	施策目標	持続可能で魅力ある沿岸漁業を展開するまち	

2 事務事業の目的

目的	漁業者自らが貝殻島周辺コンブ漁場の雑海藻を駆除し安定したコンブ資源の増大事業に対して、補助を行う。
成果	貝殻島コンブ資源を増大させ、安定的な貝殻島コンブ生産体制を構築したい。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	貝殻島周辺海域コンブ漁場の底質改善(雑海藻等の除去)						
	28	貝殻島周辺海域コンブ漁場の底質改善(雑海藻等の除去)						
	29	貝殻島周辺海域コンブ漁場の底質改善(雑海藻等の除去)						
	30	貝殻島周辺海域コンブ漁場の底質改善(雑海藻等の除去)						
	31	貝殻島周辺海域コンブ漁場の底質改善(雑海藻等の除去)						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		39,847	40,129	40,129	40,129	40,129	200,363
	内訳	国庫支出金	35,905	36,055	36,055	36,055	36,055	180,125
		道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		3,942	4,074	4,074	4,074	4,074	20,238
	人員(人工)		0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	
職員費(人員×8,081千円)		671	671	671	671	671	3,355	
総事業費		40,518	40,800	40,800	40,800	40,800	203,718	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	貝殻島コンブ年間生産量	432t	454t	477t

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	コンブ資源の増大を通じた沿岸漁業の振興。
-------------------	----------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 貝殻島コンブ資源の増大は漁家経営の安定と共に市内経済にも影響するため市民ニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 漁業協同組合等が実施している。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 貝殻島コンブ資源において資源水準が低下しており緊急性はある。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 他に代替となる手段が無く現状として妥当である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 貝殻島コンブ漁全着業者に対する補助事業であり公平性は高い。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 近年、流氷接岸による雑海藻駆除効果が減少しており本事業の有効性がある。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図り、生産量の増加に繋がりたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	水産振興課(水産指導担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	北方領土隣接地域振興等基金事業	事業番号	10160

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-2	沿岸漁業の振興
	施策目標	持続可能で魅力ある沿岸漁業を展開するまち	

2 事務事業の目的

目的	北海道の北方領土隣接地域振興等基金事業補助金を活用し、市内4漁協が漁家経営の安定を目指して種苗放流、種苗移殖、漁場造成などにより沿岸資源の維持・増大に取り組む。
成果	各種沿岸資源の維持・増大させ、漁家経営の安定を図る。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	アサリ、ウバガイ、エゾバフンウニ、ホタテガイ、マナマコの種苗放流、エゾバフンウニの種苗移殖、アサリ、ウバガイの漁場造成等						
	28	アサリ、ウバガイ、エゾバフンウニ、ホタテガイ、マナマコの種苗放流、エゾバフンウニの種苗移殖、アサリ、ウバガイの漁場造成						
	29	アサリ、ウバガイ、エゾバフンウニ、ホタテガイ、マナマコの種苗放流、エゾバフンウニの種苗移殖、アサリ、ウバガイの漁場造成						
	30	アサリ、ウバガイ、エゾバフンウニ、ホタテガイ、マナマコの種苗放流、エゾバフンウニの種苗移殖、アサリ、ウバガイの漁場造成						
	31	アサリ、ウバガイ、エゾバフンウニ、ホタテガイ、マナマコの種苗放流、エゾバフンウニの種苗移殖、アサリ、ウバガイの漁場造成						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		106,200	110,300	110,300	110,300	110,300	547,400
	内訳	国庫支出金						
		道支出金	76,200	110,300	110,300	110,300	110,300	517,400
		地方債						
		その他						
	一般財源		30,000					30,000
	人員(人工)		0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	
職員費(人員×8,081千円)		2,020	2,020	2,020	2,020	2,020	10,100	
総事業費		108,220	112,320	112,320	112,320	112,320	557,500	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計/年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	種苗放流数(アサリ、ホタテ、ナマコ等)	21,530,000粒(尾)	21,524,000粒(尾)	21,524,000粒(尾)
	種苗移植数(ウニ等)	2,850,000粒	2,850,000粒	2,850,000粒
	漁場造成面積	417,870㎡	417,870㎡	417,870㎡
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	水産資源の維持・増大を通じた沿岸漁業の振興。
-------------------	------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 各種沿岸資源の維持・増大は漁家経営の安定と共に市内経済にも影響するため市民ニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 漁業協同組合等が実施している。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 一部の沿岸資源において資源水準が低下しており緊急性はある。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 他に代替となる手段が無く現状として妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 各漁業協同組合の漁業者を受益者とした補助事業であり概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 一部の沿岸資源において漁獲量が維持されており有効性がある。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図り、資源増大に繋がりたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する

作成年度

平成27年度